

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 アニメーションコース											
アニメーション制作3											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選 1	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	寒川歩、山田伸一郎			実務 経験	有	職種	演出・作画監督（寒川）、アニメーター（山田）				
授業概要											
アニメーション制作における制作プロセス全般の理解を進め作品を制作する。											
到達目標											
前期で学んだアニメーション制作における基礎的知識の理解と技能を実践的に活用できるようになり、自分の作品に適用できるようになることが目的である。現場で表現・演出ができるようになることが最終目的である。											
授業方法											
修了制作を通して個人ワークやグループワークを採り入れアニメーション作画の知識を習得するとともに、各自の画力、技術向上などを目指す。適時教員のチェックを行いより質の高い作画ができるように留意すること。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する他、授業時間内に行われる発表方法、内容についても評価する。											
履修上の注意											
授業の進行上はじめに説明することが多いので、なるべく遅刻しないようにする。授業中の私語は説明が終わったあとは情報交換の観点から常識の範囲で許容するが、わからないところは遠慮なく教員に質問するようにする。持ち物の忘れ物をしないこと。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業態度と実習課題を重要視する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
資料を配布し、参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	導入										
第2回	修了制作(1)作画面の絵コンテチェック										
第3回	修了制作(2)コミュニケーションと計画の重要性把握										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科 アニメーションコース	
アニメーション制作3	
第4回	修了制作(3) 空間把握と演技プランの設計
第5回	修了制作(4) タイムシートの記入方法
第6回	中間講評会第一回進捗・課題点・制作スケジュールの確認
第7回	修了制作(6) 運動と演技、質感の表現等の理解と実践
第8回	修了制作(7) 運動と軌道、タイミング、空間パース
第9回	修了制作(8) キャラクターの感情表現の方法を学ぶ
第10回	中間講評会第二回進捗・課題点・デジタル制作スケジュールの確認
第11回	修了制作(9) 動画制作を通しクリンナップの復習
第12回	修了制作(10) 動画制作を通し原画に即した中割の復習
第13回	修了制作(11) 動画チェックを通し自分のカットの見直し
第14回	修了制作(12) ラッシュチェック、リテイクだし
第15回	まとめ書き出しとプレビュー